

平成 29 年 8 月 26 日

平成 29 年度学校関係者評価委員会報告書

学校法人郷学舎
アルスコンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検評価委員会が作成した平成 28 年度自己点検・評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を実施しました。平成 29 年度学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

1.開催日時

平成 29 年 8 月 24 日 (木)

14 : 00～16 : 20

2.場所

アルスコンピュータ専門学校 101 教室

3.学校関係者評価委員

<関連業界関係者>

藤間 憲一 氏 (熊谷商工会議所会頭 株式会社オキナヤ代表取締役社長)

野中 仁一 氏 (学校法人浅見学園理事長三尻こども園、三尻幼稚園、三尻保育園 園長)

大島 匡 氏 (医療法人くぼじまクリニック事務長)

<教育関係者>

中村 克彦 氏 (元深谷市教育委員会教育長)

<地域代表>

木村 美知子 氏 (木村社会保険労務士事務所所長 特定社会保険労務士)

<保護者代表>

持田 珠恵 氏 (在校生保護者)

<卒業生代表>

隅田 和利 氏 (第 5 期卒業生)

<事務局(学校側)>

- 山崎 彰 (学校法人郷学舎理事長)
荻野 欣男 (アルスコンピュータ専門学校校長)
新井 公一 (アルスコンピュータ専門学校副校長・企画室長)
正田 淳一 (アルスコンピュータ専門学校教務部部長)
戸川 千詠子 (アルスコンピュータ専門学校教務部学科長)
籠原 智恵 (アルスコンピュータ専門学校教務部学科長)
長瀬 あゆみ (アルスコンピュータ専門学校教務部副学科長)
木村 幸江 (アルスコンピュータ専門学校総務部課長補佐)

4.学校関係者評価委員会 次第

1. 開会
2. 学校関係者評価委員の委嘱
3. 委員紹介
4. 理事長挨拶
5. 校長挨拶
6. 委員長の選出
7. 協議【中村委員長により議事の進行が行われた】
 - ①学校関係者評価委員について
 - ②学校の概要 (教育目標など)
 - ③H28 年度自己点検評価結果について
 - ④意見聴取
 - ⑤その他
8. 閉会

5.学校関係者委員会報告

～各項目に関する学校関係者評価委員の評価・意見～

重点目標①②について

- キャリア教育への取り組みは素晴らしいと思う。

基準1. 教育理念・目的・育成人材像

- 社会の変化のスピードが増し業界も変わる。企業も何をやるべきか悩む時代。正しく時代を読み必要となる人材の育成がますます重要になってくると思う。
- 教育方針である『スペシャリストの育成』について『スペシャリスト』がどのようなスキルを持った存在か企業によって考え方が異なる事もある。

基準2. 学校運営

- 特になし

基準3. 教育活動

- 情報系・ビジネス系の専門学校がどのような経緯で幼児保育系の学科を設置することになったのか。
→幼児保育コースは今年度でスタートから14年になるコース。当時近隣の幼稚園、保育園の先生方からパソコンの講習依頼が多く、今後は幼稚園教諭や保育士も情報スキルが必要とされる時代となる事が予想された。そこで情報スキルも身に付けた幼稚園教諭・保育士の育成を目指し本学科が開設された。

基準4. 学修成果

- 卒業生の状況調査は多くの価値があると思う。
- 卒業後の離職調査はどのように行っているか。
→早期離職状況調査として卒後2年以内の卒業生に対しハガキによるアンケート調査を行っている。卒業生に対する全数調査は有効性を含め、現実的にも難しいのではないかと考えている。
- 当院では13年前から10名の卒業生を受け入れている。現在その内10年以上勤務が3名、5年～3年が2名、2年～1年が4名でみな頑張ってくれている。

基準5. 学生支援

- 社会人向けの再教育プログラムなどは考えているか。
→公共職業訓練の委託事業は行っているが、仕事を持っている社会人向けの教育プログラムは行っていない。熊谷という地域性や十分なニーズがあるか等、検証が必要だと考えている。
- 学生の頃は学校が毎日楽しかった。メンタル面やコミュニケーション面にも配慮した教育活動を続けてほしい。

基準6. 教育環境

- 学内のインターネット回線のスピードアップが出来ないか。
→今年の2月頃から調査・検討をすすめており業者等との打ち合わせも最終段階に来ている。内容としては学内サーバーとインターネット回線を新規更新し、現在の5倍程度の性能アップを9月に予定している。これによりネットワークだけでなくソフトウェアの立ち上がり速度なども早くなる予定である。

基準7. 学生募集と受入れ

- 企業だけでなく幼稚園などでも人材確保に苦慮している。学生の受け入れ定員を増やす計画はあるか。
→本校では開校当初より少人数制での教育を行っている。これは学生一人ひとりと向き合いながら、しっかりとした教育を行っていききたいという建学の精神に基づくものであり、急激な定員増は考えていない。今後も入学した学生をしっかりと成長させ、社会に貢献できる人材育成を行っていききたい。

基準8. 財務

- 特になし

基準9. 法令等の遵守

- 自己点検評価はどのように行われているのか。
→本校の自己点検評価委員は本校規程に基づき、各部署から選出された者で構成されている。委員は自己点検評価チェック項目に沿って一つずつ評価を行い、その後委員全員で評価結果の確認を行っている。最終的には委員会の総意として自己点検評価報告書を作成している。

基準 10. 社会貢献・地域貢献

- これからの社会は地域の連携が益々大切になり、共創の時代になってくるといわれている。それに対応した学校づくりも大切になってくると思う。

<総括>

委員の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、社会へ出る直前の教育機関として、また地域に根差した専門学校として使命感をもって学生の育成にあたらなければならないという事を改めて感じた。こうした期待に応えられる学校運営を今後も目指していききたい。

以上